

2021年7月教会便り 美唄～砂川

主任司祭 ナルチゾ神父

暑くなったり肌寒くなったりする毎日が続いているこの頃ですが皆さんはお元気でお過ごしでしょうか。コロナウィルスが発生してからもう一年になりますが、私たちの普段の生活にずいぶん影響がありました。またこれからもどうなるでしょうかと不安な気持ちをもっている人は少なくありません。



7月1日: 2008年11月24日、長崎で行われたペトロ岐部司祭と187殉教者の列福式から今年は13周年になります。この記念ではあらためて、殉教者たちの証しを思い、その息づかいを感じ祈り、188人の列聖が実現するように願うものです。

ペトロ岐部と187殉教者は、1603年から1639年にかけて殉教した日本人である。日本各地を代表しており、社会的立場も司祭、武士、商人、家族、女性、障がいのある人、子どもと多岐にわたっている。188人のうち、司祭が4人、修道者1人、他の183人は信徒であり徳川幕府時代の厳しい迫害にもかかわらず、いのちをささげることによって信仰を証した。

地域別に見て、人数が多いのは京都のヨハネ橋本太兵衛をはじめとする52名と、米沢のルイス甘糟右衛門ら53名です。また、生月の西一家、京都の橋本一家、加賀山・小笠原一族島原の内堀一家は、家族が信仰のきずなで結ばれ、励まし合い、支えあって殉教していった。

188名の中で代表的な人物は、イエズス会の司祭、ペトロ岐部です。1587年、豊後に生まれた彼は、有馬にあるイエズス会のセミナリオに入ったが、1614年、禁教令によってマカオへ追放された。マカオでの養成が困難であったためローマへ出発し、そこで司祭となったが、帰路についたとき日本では迫害の嵐が吹き荒れていた。1639年、彼は江戸で逆さつるしの刑に処せられ、殉教した。



殉教者たちの信仰と愛を称えて、2008年11月24日、長崎市においてペトロ岐部と187殉教者の列福式が行われた。日本の教会が、殉教者の血から生まれ、その上に立てられたことを思い起こし、現代社会の中で教会が自信と活気に満ちあふれて、福音を宣べ伝えるきっかけとなった。死をとおして、イエスの愛になった彼らの証は、どんなときもイエスの価値観を選び、それを証しすることの大切さを、わたしたちに教えてくれる。

では毎日ウィルスに感染しないように注意しながら、安全に一学期の終了に向けて、そして夏休みが楽しい時期になるように願っています。

7月の主な典礼・ミサ時刻

| 日 | 曜 | 典礼暦 | 砂川 | 美唄 |
|----|---|---|---|-------|
| 4 | 日 | 年間第14主日 P4 平和を願う 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 新型コロナウイルス感染症世界の為の祈り | 9:00ミサ 先読: 多田 第1: 室井 第2: 古野 典礼聖歌: 安藤/間野 オルガン: 野呂 | 11:00 |
| 11 | 日 | 年間第15主日 司祭と召出を求めるために祈る日 新型コロナウイルス感染症世界の為の祈り | 9:00ミサ 先読: 高塚 第1: 間野 第2: 岡本 典礼聖歌: 野呂/多田 オルガン: 多田 | 11:00 |
| 18 | 日 | 年間第16主日 病者と洗礼志願者のために祈る日 新型コロナウイルス感染症世界の為の祈り | 9:00ミサ 先読: 多田 第1: 千田 第2: 三上朋 典礼聖歌: 高塚/間野 オルガン: 野呂 | 11:00 |
| 25 | 日 | 年間第17主日 教会から離れた信者のために祈る日 新型コロナウイルス感染症世界の為の祈り | 9:00ミサ 先読: 野呂 第1: 本田 第2: 西川薫 典礼聖歌: 三上夫妻 オルガン: 多田 | 11:00 |

◆平日のミサ ○砂川教会: 月曜日～金曜日 6:30、土曜日10:00 ○美唄教会: 金曜日10:30

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

| | | | |
|----------------|--------|---------------|-------------------|
| ○砂川教会 | | ○美唄教会 | |
| 6日 トマス・モーア | 本田信輔 | 1日 ペトロ岐部 | 菅野 雄太郎 |
| 11日 聖ベネディクト修院長 | 谷津良勝神父 | 3日 トマス | 小川 昇 |
| 29日 聖マルタ | 篠田美代子 | 6日 マリアゴレッテー | 岡 由紀子 |
| | | 11日 ベネディクト | 河野 二郎 |
| | | 16日 カルメル山のマリア | 谷 由美子 |
| | | 26日 アンナ | 菅野まり子、菅野向日葵、州之内京子 |

◆砂川教会 お知らせ

- ・11日(日) 聖堂、香部屋大掃除を予定。
- ・ロザリオ会は 9日 午後7:00～ 信徒会室にて。
- ・毎週水曜日 午前10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

| 花当番 | |
|--------|-----|
| 3日(土) | 室井 |
| 10日(土) | 岡本 |
| 17日(土) | 多比良 |
| 24日(土) | 古野 |
| 31日(土) | 野呂 |

砂川・滝川・美唄 共同墓地が7月中出来ます！

マンフレード神父



主の平和

カトリック教会の伝統的な祈り“十字架の道行き”は、十四留は主の葬りであり十五留は主の復活が宣言されています。エルサレムの教会のイエス様のお墓は既に復活のシンボルであり、記念となっています。日本でも墓参りの心があり、お墓で人々は彼らの、家族や共同体の一致、出会えた事への感謝の心をあらわします。

砂川教会の大きな墓地にある大きな十字架とマリア様は、イエス様の死と復活の記念であると同時に、亡くなった人々は主と共に生きているという証であり、この地方美唄、砂川、滝川と大家族であって墓地は一つのシンボルなのです。

この度の新しい三教会合同墓完成にあたり、私たち滝川教会は、砂川教会に感謝し、あの十字架の下「主の死を思い、復活をたたえよう。主が来られるまで。」とごミサの中で共に祈ることができます。同時にその祈りは空知地方で亡くなられた方々への祈りでもあり、今も生きている人々と共に大地の恵み、労働の実りを感謝し、そのすべての祈りを祝福として響かせます。

